



vPC ファブリック ピアリングの設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [vPC ファブリック ピアリングの詳細 \(1 ページ\)](#)
- [vPC ファブリック ピアリングの注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [vPC ファブリック ピアリングの設定 \(4 ページ\)](#)
- [vPCから vPC ファブリック ピアリング への移行 \(7 ページ\)](#)
- [vPC ファブリック ピアリング 設定の確認 \(9 ページ\)](#)

vPC ファブリック ピアリングの詳細

vPC ファブリック ピアリング は、vPC ピア リンクの物理ポートを無駄にすることなく、拡張デュアル ホーミングアクセス ソリューションを提供します。この機能は、従来の vPC のすべての特性を保持します。

vPC ファブリック ピアリング ソリューションを次に示します。

- 仮想メンバー（トンネル）を含む vPC ファブリック ピアリング ポートチャネル。
- vPC ファブリック ピアリング（トンネル）、物理ピアリンク要件の削除。
- vPC ファブリック ピアリング アップ/ダウン イベントは、ルートの更新とファブリックのアップ/ダウンに基づいてトリガーされます。
- 拡張障害カバレッジのアップリンク トラッキング。
- vPC ファブリック ピアリング ルーティングされたネットワーク（スパインなど）を介した到達可能性。
- vPC コントロールプレーン over TCP-IP（CFSolP）の復元力の向上。
- VXLAN トンネル上のデータ プレーン トラフィック。
- vPC メンバー スイッチ間の通信では、VXLAN カプセル化が使用されます。
- ノード上のすべてのアップリンクに障害が発生すると、そのスイッチの vPC ポートがダウンします。このシナリオでは、vPC ピアがプライマリ ロールを引き受け、トラフィックを転送します。

- vPC のステート依存性とアップ/ダウンシグナリングによるアップリンク トラッキング。
- ポジティブアップリンク ステートトラッキングにより、vPC プライマリ ロールの選択が促進されます。
- ボーダー リーフおよびスパインの場合、ネットワーク通信はファブリックを使用するため、VRF 単位のピアリングは必要ありません。
- VIP/PIP 機能をタイプ 2 ルートに拡張することにより、孤立したホストへの転送を強化します。



(注) 1 つの VTEP としてカウントされる通常の vPC とは異なり、vPC ファブリック ピアリングは 3 つの VTEP としてカウントされます。

vPC ファブリック ピアリングの注意事項と制約事項

次に、vPC ファブリック ピアリングの注意事項と制限事項を示します。

- Cisco Nexus 9300-EX、および 9300-FX/FXP/FX2/FX3/GX/GX2 プラットフォーム スイッチは、vPC ファブリック ピアリングをサポートします。Cisco Nexus 9200 および 9500 プラットフォーム スイッチは、vPC ファブリック ピアリングをサポートしていません。



(注) Cisco Nexus 9300-EX スイッチでは、混合モードのマルチキャストと入力レプリケーションはサポートされていません。VNI はマルチキャストまたは IR アンダーレイのいずれかで設定する必要があります。

- vPC ファブリック ピアリングでは、`region ing-flow-redirect` の TCAM カービングが必要です。TCAM カービングでは、機能を使用する前に設定を保存し、スイッチをリロードする必要があります。(この要件は、Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチには適用されません)。
- vPC ファブリック ピアリングの送信元および宛先 IP を再設定する前に、vPC ドメインをシャットダウンする必要があります。vPC ファブリック ピアリングの送信元と宛先の IP を調整したら、vPC ドメインを有効にできます (**no shutdown**)。
- コマンドでサポートされる送信元および宛先 IP は、クラス A、B、および C です。クラス D および E は、vPC ファブリック ピアリングではサポートされません。**virtual peer-link destination**
- vPC ファブリック ピアリング ピアリンクは、トランスポート ネットワーク (ファブリックのスパイン層) を介して確立されます。vPC ピア間の通信がこのように行われると、ポート ステート情報、VLAN 情報、VLAN-to-VNI マッピング、ホスト MAC アドレスの

同期に使用されるコントロールプレーン情報 CFS メッセージがファブリック経由で送信されます。CFS メッセージは、トランスポートネットワークで保護する必要がある適切な DSCP 値でマーキングされます。次の例は、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのスパインレイヤでの QoS 設定の例を示しています。

DSCP 値を照合してトラフィックを分類します (DSCP 56 がデフォルト値です)。

```
class-map type qos match-all CFS
  match dscp 56
```

適切なスパインスイッチの完全プライオリティキューに対応する qos-group にトラフィックを設定します。この例では、スイッチは完全プライオリティキュー (キュー 7) に対応する qos-group 7 にトラフィックを送信します。異なる Cisco Nexus プラットフォームでは、キューイング構造が異なる場合があることに注意してください。

```
policy-map type qos CFS
  class CFS
    Set qos-group 7
```

VTEP (ネットワークのリーフ層) に向かうすべてのインターフェイスに分類サービスポリシーを割り当てます。

```
interface Ethernet 1/1
  service-policy type qos input CFS
```

- vPC ファブリック ピアリング ドメインは、FEX の接続をサポートしていません。
- vPC ファブリック ピアリング ドメインは、マルチサイト vPC BGW のロールではサポートされません。
- VIP/PIP 機能をタイプ 2 ルートに拡張して、孤立ホストへの転送を強化します。
- レイヤ 3 テナントルーテッドマルチキャスト (TRM) はサポートされていません。レイヤ 2/レイヤ 3 TRM (混合モード) はサポートされていません。
- この機能でタイプ 5 ルートを使用する場合、この **advertise-pip** コマンドは必須設定です。
- vPC ポートの背後にある VTEP はサポートされません。これは、仮想ピアリンクピアが vPC ポートの背後にある VTEP の中継ノードとして機能できないことを意味します。
- SVI およびサブインターフェイス アップリンクはサポートされていません。
- 孤立したタイプ 2 ホストは、PIP を使用してアドバタイズされます。vPC タイプ 2 ホストは、VIP を使用してアドバタイズされます。これはタイプ 2 ホストのデフォルトの動作です。
PIP を使用して孤立したタイプ 5 ルートをアドバタイズするには、BGP で PIP をアドバタイズする必要があります。
- リモート VTEP から孤立したホストへのトラフィックは、孤立した実際のノードに到達します。トラフィックのバウンスが回避されます。



(注) vPC レッグがダウンしている場合でも、vPC ホストは VIP IP でアドバタイズされます。

- 中断のない ISSUNX-OS ソフトウェアアップグレードは、vPC ファブリック ピアリング機能が設定されたスイッチではサポートされません。

vPC ファブリック ピアリングの設定

両方の vPC メンバー スイッチで vPC ファブリック ピアリング DSCP 値が一致していることを確認します。対応する QoS ポリシーが vPC ファブリック ピアリング DSCP マーキングと一致することを確認します。

vPC ファブリック ピアリング を通過する通信を必要とするすべての VLAN は、VXLAN を有効にする必要があります (vn-segment)。これにはネイティブ VLAN が含まれます。



(注) MSTP では、ピアリンクと vPC レッグにデフォルトのネイティブ VLAN 設定がある場合、VLAN 1 は vPC ファブリック ピアリング全体に拡張する必要があります。この動作は、VLAN 1 を VXLAN (vn-segment) 経由で拡張することで実現できます。ピアリンクおよび vPC レッグにデフォルト以外のネイティブ VLAN がある場合は、VLAN を VXLAN (vn-segment) に関連付けることによって、それらの VLAN を vPC ファブリック ピアリング全体に拡張する必要があります。

show vpc virtual-peerlink vlan consistency コマンドを使用して、vPC ファブリック ピアリングに使用する既存の VLAN-to-VXLAN マッピングを確認します。

peer-keepalive for vPC ファブリック ピアリングは、次のいずれかの設定でサポートされます。

- mgmt interface
- デフォルトまたは非デフォルト VRF の専用レイヤ 3 リンク
- スパイン経由で到達可能な lopback インターフェイス。

機能の設定

例では、アンダーレイ ルーティングプロトコルとして OSPF を使用しています。

```
configure terminal
nv overlay evpn
feature ospf
feature bgp
feature pim
feature interface-vlan
feature vn-segment-vlan-based
feature vpc
feature ptp
```

```
feature nv overlay
```

vPC の設定



- (注) vPC ファブリック ピアリング 送信元または宛先 IP を変更するには、変更前に vPC ドメインをシャットダウンする必要があります。vPC ドメインは、**no shutdown** コマンドを使用して変更後に動作に戻すことができます。

TCAM カービングの設定

```
hardware access-list tcam region mac-ifacl 0
hardware access-list tcam region ing-flow-redirect 1952
```

vPC ドメインの設定

```
vpc domain 100
peer-keepalive destination 192.0.2.1
virtual peer-link destination 192.0.2.100 source 192.0.2.20/32 [dscp <dscp-value>]
Warning: Appropriate TCAM carving must be configured for virtual peer-link vPC
peer-switch
peer-gateway
ip arp synchronize
ipv6 nd synchronize
exit
```



- (注) オプションの **dscp** キーワード。範囲は 1 ~ 63 です。デフォルト値は 56 です。

vPC ファブリック ピアリング ポート チャンネルの設定

次のポート チャンネルのメンバーを設定する必要はありません。

```
interface port-channel 10
switchport
switchport mode trunk
vpc peer-link

interface loopback0
```



- (注) このループバックは、NVE 送信元インターフェイス ループバック (VTEP IP アドレスに使用されるインターフェイス) ではありません。

```
ip address 192.0.2.20/32
ip router ospf 1 area 0.0.0.0
```



- (注) BGP ピアリングまたは専用ループバックにループバックを使用できます。このループバックは、ピアのキープ アライブとは異なる必要があります。

アンダーレイ インターフェイスの設定

L3 物理チャネルと L3 ポート チャネルの両方がサポートされます。SVI およびサブインターフェイスはサポートされていません。

```
router ospf 1
interface Ethernet1/16
ip address 192.0.2.2/24
ip router ospf 1 area 0.0.0.0
no shutdown
interface Ethernet1/17
port-type fabric
ip address 192.0.2.3/24
ip router ospf 1 area 0.0.0.0
no shutdown
interface Ethernet1/40
port-type fabric
ip address 192.0.2.4/24
ip router ospf 1 area 0.0.0.0
no shutdown
interface Ethernet1/41
port-type fabric
ip address 192.0.2.5/24
ip router ospf 1 area 0.0.0.0
no shutdown
```



(注) スパインに接続されるすべてのポートは、ポートタイプ of ファブリックである必要があります。

VXLAN 設定



(注) **advertise virtual-rmac** (NVE) と **advertise-pip** (BGP) の設定は必須の手順です。詳細については、[vPC マルチホーミングの設定](#) の章を参照してください。

SVI および VLAN の設定

```
vlan 10
vn-segment 10010
vlan 101
vn-segment 10101
interface Vlan101
no shutdown
mtu 9216
vrf member vxlan-10101
no ip redirects
ip forward
ipv6 address use-link-local-only
no ipv6 redirects
interface vlan10
no shutdown
mtu 9216
vrf member vxlan-10101
no ip redirects
ip address 192.0.2.102/24
```

```
ipv6 address 2001:DB8:0:1::1/64
no ipv6 redirects
fabric forwarding mode anycast-gateway
```

仮想ポート チャンネルの設定

```
interface Ethernet1/3
switchport
switchport mode trunk
channel-group 100
no shutdown
exit
interface Ethernet1/39
switchport
switchport mode trunk
channel-group 101
no shutdown
interface Ethernet1/46
switchport
switchport mode trunk
channel-group 102
no shutdown
interface port-channel100
vpc 100
interface port-channel101
vpc 101
interface port-channel102
vpc 102
exit
```

vPCからvPC ファブリック ピアリング への移行

この手順には、通常のvPCからvPC ファブリック ピアリング への移行手順が含まれていません。

vPCピア間の直接レイヤ3リンクは、ピアキーブアライブにのみ使用する必要があります。このリンクは、vPC ファブリック ピアリング ループバックのパスをアドバタイズするために使用しないでください。



(注) この移行は中断を伴います。

始める前に

移行前に、vPCピア間のすべての物理レイヤ2リンクをシャットダウンすることを推奨します。また、移行前または移行後にVLANをvn-segmentにマッピングすることを推奨します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **show vpc**

3. **show port-channel summary**
4. **interface ethernet *slot/port***
5. **no channel-group**
6. インターフェイスごとにステップ 4 と 5 を繰り返します。
7. **show running-config vpc**
8. **vpc domain *domain-id***
9. **virtual peer-link destination *dest-ip* source *source-ip***
10. **hardware access-list tcam region ing-flow-redirect *tcam-size***
11. **copy running-config startup-config**
12. **reload**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	show vpc 例： switch(config)# show vpc	ポート チャネルのメンバー数を決定します。
ステップ 3	show port-channel summary 例： switch(config)# show port-channel summary	メンバーの数を決定します。
ステップ 4	interface ethernet <i>slot/port</i> 例： switch(config)# interface ethernet 1/4	設定するインターフェイスを指定します。 (注) これは、ピアリンク ポート チャネルです。
ステップ 5	no channel-group 例： switch(config-if)# no channel-group	vPC ピアリンク ポート チャネル メンバーを削除します。 (注) このステップの後に中断が発生します。
ステップ 6	インターフェイスごとにステップ 4 と 5 を繰り返します。 例：	
ステップ 7	show running-config vpc 例： switch(config-if)# show running-config vpc	vPC ドメインを決定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	vpc domain <i>domain-id</i> 例： switch(config-if)# vpc domain 100	vPC ドメイン コンフィギュレーション モードを入力します。
ステップ 9	virtual peer-link destination <i>dest-ip</i> source <i>source-ip</i> 例： switch(config-vpc-domain)# virtual peer-link destination 192.0.2.1 source 192.0.2.100	vPC ファブリック ピアリングの宛先および送信元 IP アドレスを指定します。
ステップ 10	hardware access-list tcam region ing-flow-redirect <i>tcam-size</i> 例： switch(config-vpc-domain)# hardware access-list tcam region ing-flow-redirect 512	TCAM カービングを実行します。
ステップ 11	copy running-config startup-config 例： switch(config-vpc-domain)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。
ステップ 12	reload 例： switch(config-vpc-domain)# reload	スイッチをリブートします。

vPC ファブリック ピアリング 設定の確認

vPC ファブリック ピアリング 設定のステータスを表示するには、次のコマンドを入力します。

表 1: vPC ファブリック ピアリング 検証コマンド

コマンド	目的
show vpc fabric-ports	ファブリック ポートの状態を表示します。
show vpc	vPC ファブリック ピアリング モードに関する情報を表示します。
show vpc virtual-peerlink vlan consistency	vn-segment に関連付けられていない VLAN を表示します。

show vpc fabric-ports コマンドの例

```
switch# show vpc fabric-ports
Number of Fabric port : 9
Number of Fabric port active : 9
```

```
Fabric Ports State
-----
Ethernet1/9 UP
Ethernet1/19/1 ( port-channel151 ) UP
Ethernet1/19/2 ( port-channel151 ) UP
Ethernet1/19/3 UP
Ethernet1/19/4 UP
Ethernet1/20/1 UP
Ethernet1/20/2 ( port-channel152 ) UP
Ethernet1/20/3 ( port-channel152 ) UP
Ethernet1/20/4 ( port-channel152 ) UP
```

show vpc コマンドの例

```
switch# show vpc
Legend:
          (*) - local vPC is down, forwarding via vPC peer-link

vPC domain id          : 3
Peer status            : peer adjacency formed ok
vPC keep-alive status  : peer is alive
Configuration consistency status : success
Per-vlan consistency status : success
Type-2 consistency status : success
vPC role               : primary
Number of vPCs configured : 1
Peer Gateway           : Enabled
Dual-active excluded VLANs : -
Graceful Consistency Check : Enabled
Auto-recovery status   : Enabled, timer is off.(timeout = 240s)
Delay-restore status   : Timer is off.(timeout = 30s)
Delay-restore SVI status : Timer is off.(timeout = 10s)
Operational Layer3 Peer-router : Disabled
Virtual-peerlink mode : Enabled

vPC Peer-link status
-----
id   Port   Status Active vlans
--   --
1    Po100  up     1,56,98-600,1001-3401,3500-3525

vPC status
-----
Id   Port   Status Consistency Reason          Active vlans
--   --
101  Po101  up     success      success          98-99,1001-280
                                           0
```

Please check "show vpc consistency-parameters vpc <vpc-num>" for the consistency reason of down vpc and for type-2 consistency reasons for any vpc.

ToR_B1#

show vpc virtual-peerlink vlan 整合性コマンドの例

```
switch# show vpc virtual-peerlink vlan consistency
Following vlans are inconsistent
23
switch#
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。